



四季折々

あたらしいあなたを

校長 佐藤 忍

新年度が4月から始まり、5月へ。季節に「初夏」を使う季節となりました。と言いましても、まだまだ寒暖の差もあり。体調を崩しやすい季節です。日常のペースをしっかりと守り、体調管理に留意してください。

さて、私自身も学校生活に慣れ、少しずつ授業や学級活動を見に行くことが増えています。その時の生徒のみなさんの様子ですが、まだまだ学級の仲間同士でもぎこちない雰囲気や、緊張している雰囲気があります。新型コロナウイルス感染症への対策が落ちついてきている中、以前は控えていた対話やコミュニケーションによる授業も元の姿に戻ってきています。しかし、約3年間、コロナ禍での生活を送って来ただけに、今の状態が慣れていないところがあるのかもしれない。

ところで、以前、生徒のみなさんに向けて、お話しした「新しい自分」ですが、この1ヶ月で「新しい自分」への変化はありますか。

例えば、4月当初、こちらがあいさつをしてからあいさつが返ってきていましたが今は先にあいさつをする生徒のみなさんが増えてきています。

また、そのあいさつも、わざわざ立ち止まってあいさつをしてくれる生徒がいて、その紹介をすると、立ち止まってあいさつをしてくれる人も増えていきます。私も思わず立ち止まってあいさつをしてしまいます。

朝の登校に関しても8時25分に間に合うように行動してくれている人、遅れ気味の時に急いでくれる人が増えてきているようです。自分では気がついていないかもしれませんが、もしかしたら、知らず知らずのうちに「新しい自分」になっているのかもしれない。

中学生になると、変化を嫌う人も増えてきます。思春期特有の反抗期もあるのかもしれませんが、良くなるための「変化」を自分の意地やプライドでやめてしまったり、周りの人達がそれをからかったり、茶化したりすることによって、その人が変わることを止めたりすることはとても残念なことだと思います。

始業式に「『新しい自分』になってください」と話をしたとき、合わせてこのように言いました。「周りのみんなも、それを認めてあげてほしい」と。今、「新しい自分」になれている人が増えているのは、自分の努力ももちろんですが、周りがそれを認めてくれる環境にあるからです。みんなが「新しい自分」「新しいあなた」を認めているからこそ、いい変化が生まれているのだと思います。

「新しい自分」に生まれ変わっているあなた、この変化を続けていきましょう。そしてさらに成長していきましょう。仲間の「新しい自分」を認めてくれた「あなた」、きっと仲間も「新しいあなた」を認めてくれるはずですよ。思い切って変化してみませんか。

古江台中学校にこういった人を認め合ういい循環が生まれている気配を少し感じています。



◆修学旅行説明会◆

本当に久しぶりに、集会室で集合型の修学旅行説明会を行いました。今の時代に反しているかもしれませんが、学校に携わるものとして、対面で行うことで緊張感もありますが、やはり何かしらの思いをより伝えられるような気持ちになってしまいます。当日は90名近くの保護者に参加していただきました。保護者の皆様、ご多用の中お越しいただきありがとうございました。

◆生徒総会◆

5月1日、生徒総会が行われました。体育館で一斉に集まって行う生徒総会は3年ぶりでしょうか。この当たり前の状況が3年近くなかったのかという、ある種不思議な気持ちです。3年生の皆さんは中学校に入学してから、全校生徒が集まって生徒総会を開くことがなかったので、生徒全員が集まる生徒総会に違和感を持つのもかもしれません。

という感慨にふけっている教職員はさておき、生徒の皆さんは全校生徒の前でも臆することなく発表していました。各委員長からは前期の目標が発表されました。その後、学級委員から、各学級の目標が模造紙に大きいイラスト付きで描かれたものを提示し、その目標について説明が行われました。担任の先生にちなんだもの、一斉に掛け声を上げる学級もありました。学級目標は各学級で掲示されていますので、保護者の皆様におかれましては、オープンスクールの際にご覧ください。秀作ぞろいです。